

いきなり質問…「あなたは、こんな表情がいくつありますか？」

- ① 興味のある事項には徹底的に精通している(鉄道、車、アニメ、ゲームなど)。
- ② 興味対象が著しく狭く、興味の無い分野には集中しようとしなない。
- ③ 誠実でまじめ。決められたルールは守り、友達を裏切らない。
- ④ 手順の決まっている作業には、集中して取り組める。
- ⑤ 作業を中断されるとパニックになってしまう。予想外の事態に対処ができない。
- ⑥ 知識欲が旺盛で努力家。それゆえ、知識量が人並み外れていることが多い。
- ⑦ 暗記が得意。無意味な数字や番号などを簡単に記憶できる。
- ⑧ 抜群の集中力とこだわりを、特定の分野で発揮できる。
- ⑨ 一度やり方を身につけたら、正確かつ丁寧に作業する。
- ⑩ 2つ同時に何かをすることが出来ない。
- ⑪ 視覚での認知が得意(フローチャート・グラフ化等)。
- ⑫ 感覚を必要とする場面で、微妙な区別を出来たりする(音や味の区別)。
- ⑬ 人の中で浮いてしまう。同年齢の人と波長が合わない。自分のことを異常に気にする。
- ⑭ 幼児期は他の子と遊ぶより一人遊びが好きだった。
- ⑮ 人との接し方のマナーやルールがよくわからない。
- ⑯ 皮肉や社交辞令が理解できずに、額面通りに受け取ってしまう。
- ⑰ 意図せず人を傷つけて嫌われてしまう。「KY」とか、「天然」とか言われる場合がある。
- ⑱ こだわりの強さで周囲との衝突を引き起こしたりする。
- ⑲ 暗黙のルールに、いつまでたっても気づけない。周りの空気を気にしない。
- ⑳ 自分の関心のあることだけを一方的にしゃべり、しゃべり終えたら満足して相手の話をきけない。柔軟性に乏しい、応用が苦手。会話が長続きしない。
- ㉑ 曖昧なこと、ファジーなことが苦手。融通がきかない。不器用で無表情。
- ㉒ 細かいところにこだわる。感覚過敏で日常生活に支障をきたす事もある。

通常、人間は、他者の仕草や雰囲気から多くの情報を集め、相手の感情や認知の状態を読み取ることができる。しかし上記のような人は、この能力が欠けており、他者の心を読むことが難しい、「心の理論の欠如」だと言われている。そのような、仕草や状況、雰囲気から気持ちを読み取れない人は、他人が微笑む様子を見ることはできても、その微笑みが何を意味しているかが理解できない。多くの場合、彼等にとって「行間を読む」とか、「アイコンタクト」、「阿吽(あうん)の呼吸」などの理解は、困難ないし不可能である。

つまり、人が口に出して言葉で言わなければ、意図していることが何かを理解できない。

これが極端な場合に、「適応障害」とか、「アスペルガー症候群」とか、病名を付けたがる医者もいるが、入院・治療するほどの病状ではない場合が多く、本人すら全く自覚がない。

とても病人とは思えない故に、我々の周りに結構この手の人が存在する。

他人とのコミュニケーション能力の障害だから、円滑で、より密度の高いコミュニケーションを目指す時、この人たちは必ず障害になる。

この人たちへの福祉・医療支援体制が全く未整備の現在、徐々に対象者数が増えている。

つまり、自己中心の、ねじれた、ディスコミュニケーション社会が着々と形成されつつある。

ひよっとしたら、(私も含め)あなた自身も、身に覚えがあるかもしれない…いかがなものか？